

2025年2月期 第1四半期

決算説明資料

株式会社ALiNKインターネット（証券コード：7077）

2024年7月

ALiNK

未来の予定を晴れにする

私たちが目指すのは、人々が情報を受け取った、その先の課題解決。

「天気」をきっかけとして、そんなひとりひとりのココロに寄り添い、

それぞれが抱える課題に最適なソリューションを提供していくことも私たちの仕事だと考えます。

「ちょっと先の暮らし」に小さな幸せを届け続ける。

それが私たちの実現したい未来です。



個別損益計算書

(単位:百万円)	2024年2月期 1Q	2025年2月期 1Q	増減額	前年同期比	上期予算	進捗率
売上高	149	187	+37	125.0%	352	53.2%
売上総利益	91	111	+20	121.9%	-	-
販売費及び 一般管理費	69	90	+20	129.1%	-	-
営業利益	21	21	△0	98.8%	8	269.7%
経常利益	21	26	+5	123.2%	13	206.8%
当期純利益	55	55	△0	99.0%	45	122.4%

tenki.jpの売上高が、
想定を上回る水準で推移

- 売上高
PV数は、堅調に増加し、前年同期比109.2%の15億PV

広告単価の低迷基調は続くも、前年同期比98.1%を維持
- 売上原価
新たな収益事業の構築に向け先行投資
- 販売費及び一般管理費
ブランディングコスト21百万円
- 特別利益
積立保険の一部解約により、保険解約返戻金54百万円を計上

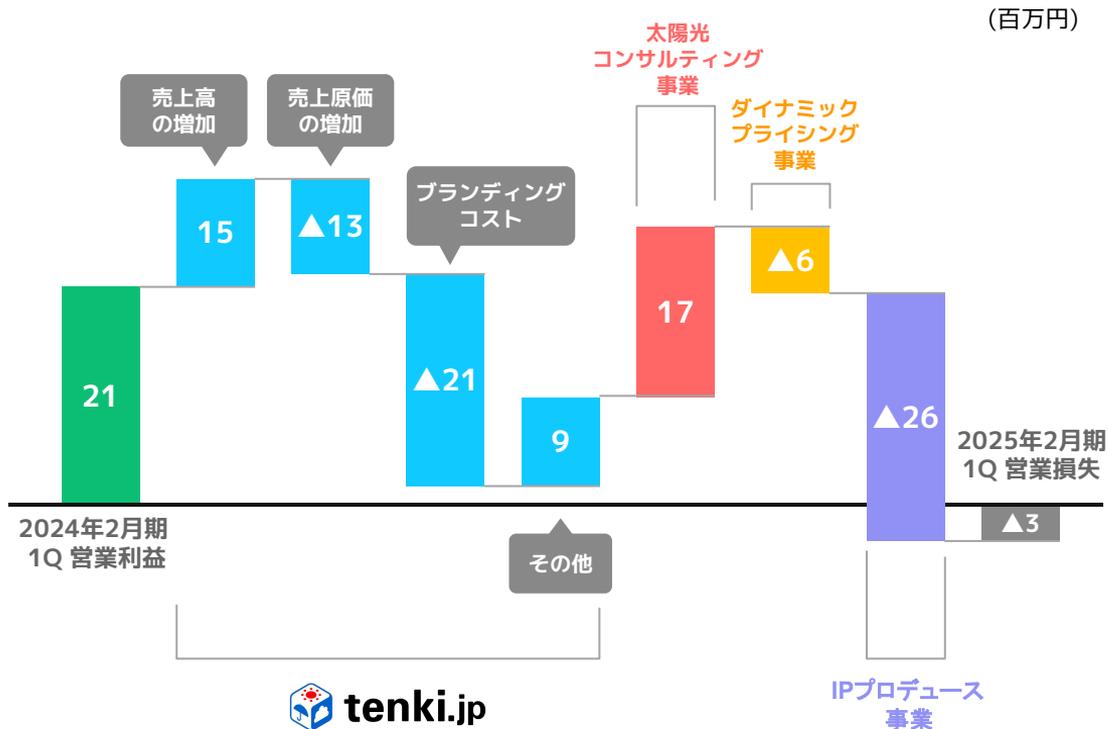
連結損益計算書

(単位:百万円)	2025年2月期 1Q			上期予算
	個別	連結の影響	連結	
売上高	187	—	187	390
売上総利益	111	—	111	-
販売費及び 一般管理費	90	+25	115	-
営業利益	21	△25	△3	△36
経常利益	26	△25	1	△32
当期純利益	55	△25	30	0

株式会社エンバウンドの全株式を取得し、連結子会社化

- 連結決算の開始
1Qは、BSのみを連結
- 無形固定資産にのれん235百万円（暫定）を計上
2Qより償却開始
- 取得関連費用の発生
M&Aのアドバイザー費用、
デューデリジェンス費用
- 上期予算は、据え置き
1Qの業績は、想定を上回る水準で推移するが、2Qから連結PLにエンバウンドの業績を取込む等があり、上期予算は据え置く

営業利益の増減分析



tenki.jp事業

- PV数の堅調な増加により、売上高が前年同期比15百万円増加
- 「tenki.jp」の認知度向上を図るため、ブランディングの強化を実施（21百万円）

IPプロデュース事業

- 2024年5月に(株)エンバウンドの株式を取得
アドバイザー費用等26百万円

その他の事業

- **太陽光コンサルティング事業**
太陽光設備の保有数増加による売電収入の増加。継続して新たな事業機会を模索中。
- **ダイナミックプライシング事業**
2024年4月に事業に先立つPoC（実証実験）としてレンタルスペース事業を事業譲受

主力サービス「tenki.jp」



tenki.jp

一般財団法人日本気象協会と共同運営する天気予報専門メディア。
市区町村別のピンポイントな天気予報に加え、
専門的な気象情報、地震・津波などの防災情報を提供。

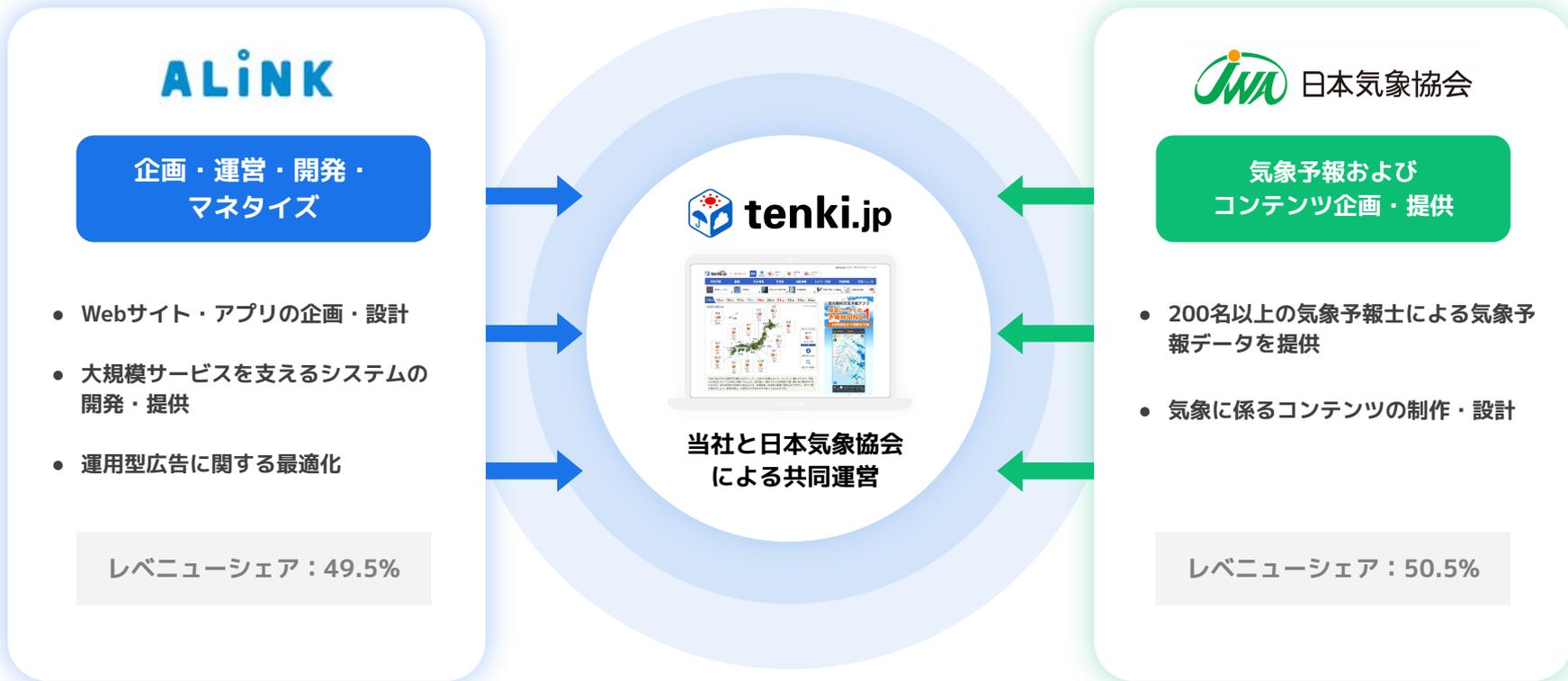
PV数 ----- **15億PV**
※前期：56億PV（年間）
14億PV（1Q）

無料掲載コンテンツ ----- **60種以上**

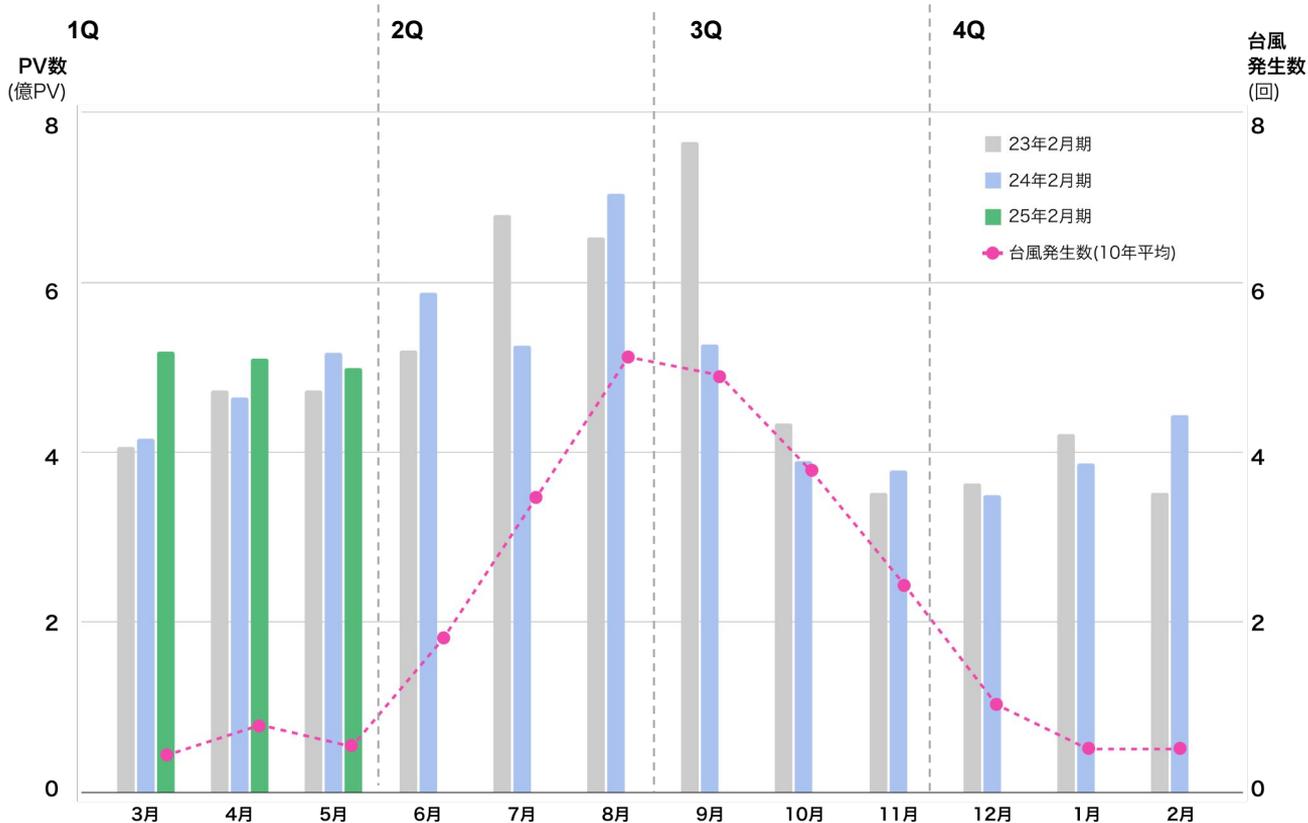
X（旧twitter）フォロワー数 -- **2.8百万人**(tenki.jp)
2.1百万人(tenki.jp地震情報)



日本気象協会との関係性



PV数



前年同期比109.2%と堅調に増加

- 3月4月は、前年を上回るPV数を獲得

※季節性

台風等の気象状況の変化が発生した際に、PV数が大幅に増加する傾向にあります。

そのため、第2四半期（6月～8月）第3四半期（9月～11月）にPV数が増加し売上も増加する傾向にあります。

tenki.jp タイアップ

TOPIC
1

フジテレビ系水10ドラマ『ブルーモーメント』とコラボ



「tenki.jp」トップページ（上記画像）

期間：2024年4月17日（水）～2024年6月26日（水）

『ブルーモーメント』と「tenki.jp」の番組連動CMを放送

TOPIC
2

映画『マッドマックス：フュリオサ』とコラボ



「tenki.jp」指数ページ（上記画像）

「tenki.jp」で提供している4つの指数が過替わりで特別仕様のデザインに

記事コンテンツの配信

気象の観点から映画の世界を読み解く

記事コンテンツを配信

(C) 2024 Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved.
IMAXR is a registered trademark of IMAX Corporation.
Dolby Cinema is a registered trademark of Dolby Laboratories.

登山天気



tenki.jp
登山天気

日本三百名山と人気の山を対象に、麓（ふもと）から山頂までの登山ルート沿いの天気予報や雷危険度などをひと目で確認できる、登山者のためのアプリ。一般財団法人日本気象協会と共同運営。

ダウンロード数 ----- **55万8千DL**
(25年2月期1Q +1万8千DL)

課金ユーザー ----- **2万人**

掲載する山の数 ----- **430(三百名山+α)**
※24年6月に30座追加

50万

ダウンロード
突破!!

NEW オフライン対応開始!

オフラインでも天気予報を表示

電波が取得できない環境でも、電波のつながる環境で取得した1日ごとの天気や時間ごとの天気を表示



「tenki.jp 登山天気」マイ山追加ランキング

●アプリ内 マイ山追加ランキング

RANK	名称	エリア	標高(m)	解説	天気地点数
1	富士山	秩父・多摩・南関東	3776	日本の最高峰、登山シーズン（7～8月）以外は上級登山者限定の危険な山です。毎年約20万人以上が山頂を目指すと言われています。	7
2	立山	北アルプス周辺	3015	別名立山連峰。日本を代表する山岳リゾートになっています。高山植物が咲き乱れ、落差日本一を誇る称名滝、蒸気を噴き上げる地獄谷、神秘的なミクリガ池など、変化に富む景観が楽しい登山を約束してくれます。	7
3	白馬岳	北アルプス周辺	2932	北アルプス後立山連峰北部に位置し、白馬三山の盟主と呼ばれています。山中、山麓の随所に温泉があるのも多くの登山者に愛されている理由のひとつです。標高2100mにある鍾温泉は、秘湯の趣にあふれています。	9
4	穂高岳	北アルプス周辺	3190	穂高岳は、日本第3位と言われる最高峰の奥穂高岳を盟主としています。豪快で重量感のある崇高な山容、荒々しい岩壁や雪渓、氷河地形に展開するお花畑と秋の紅葉など、魅力に溢れる、わが国を代表する名峰です。	10
5	槍ヶ岳	北アルプス周辺	3180	日本で5番目の高さを誇り、「日本のmatter-horn」と呼ばれています。北アルプスのどこから見てもその姿を見ることができる「尖鋭な鉾で天を突く」山容は、初夏から紅葉の頃まで、登山者の姿の途絶えることのない名峰中の名峰です。	10
6	燕岳	北アルプス周辺	2763	長野県の飛騨山脈にある燕岳は、二百名山の他に新日本百名山にも選ばれた標高2,763mの山です。急登が多いものの道がよく整備されており、学生の登山などにも適した山道です。	4
7	赤岳	中央アルプス周辺	2899	八ヶ岳は、四季折々に自然の様々な表情を見せてくれる日本の代表的なアルペンスポットです。展望の素晴らしいと、高山植物の宝庫として知られ、多彩な登山ルートで人々を魅了します。	20
8	北岳	南アルプス	3193	南アルプスの盟主にして、日本第2位の高峰です。東面の大岩壁は「バットレス」と呼ばれ、古くからクライマーの憧れの岩壁です。夏には、固有種キタダケソウをはじめ、100種以上の高山植物が見られる日本有数の高山植物の宝庫です。	5
9	木曾駒ヶ岳	中央アルプス周辺	2956	木曾山脈(中央アルプス)の最高峰。四季折々に素晴らしい景色を与えてくれます。東洋一のロープウェイが架設してから千畳敷カールまでは簡単に登れるようになりました。	9
10	白山	北陸・東海	2702	「日本三名山」と讃えられる名峰中の名峰です。高山植物の宝庫としても知られました。万年雪が残り、広大な原生林やそこに生息する野生動物、数多く噴出する温泉群など白山は多くの魅力を持っています。	3

「tenki.jp 登山天気」の特徴

- **中上級者の登山者が多い**
検索件数ランキングでは標高3,000m級の山が上位を占める。
年間の登山回数10回以上のユーザーが全体の70%。
- **幅広いシチュエーションで利用**
「ここ1年でどのような登山をしましたか？」（アンケート結果）
日帰り登山：93.5%
冬山の登山：44.1%
中上級者だけでなく初級者の方も安心して利用可
- **山頂、登山口のピンポイント予報**
登山ルートに合わせたピンポイント予報（山によっては最大20地点）
ピンポイント予報は、1時間ごとに確認できる機能もあり
雨雲の動き雷危険度も利用されている

各事業の方向性

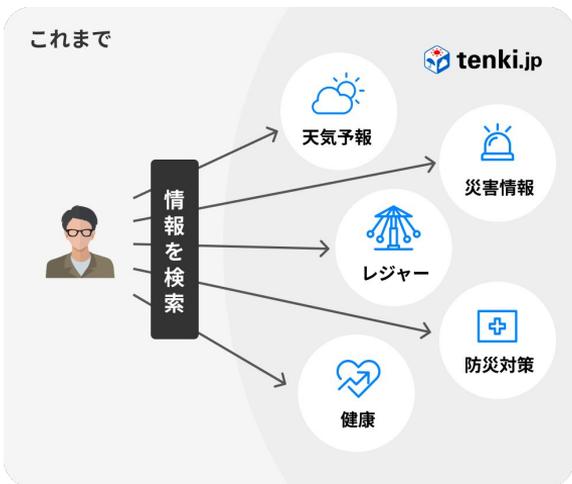
	Business issues 課題		Strategy 戦略・戦術
tenki.jp事業	広告収益への依存	➡	新たな収益モデルの構築
IPプロデュース事業	アナログ的な要素が多い	➡	デジタル化 ビジネススキームの見直し
太陽光コンサルティング事業	太陽光発電設備からの 売電収入のみ	➡	新たなビジネス機会の創出
ダイナミックプライシング事業	収益化	➡	PoC(実証実験)

「tenki.jp メンバーシップ」開始（2024年7月）

「tenki.jp メンバーシップ」とは

天気予報を利用者ひとりひとりのライフスタイルに合わせパーソナライズしていくことで、天気と利用者の生活を直接結ぶ事を目的としたプロジェクト。
新しい機能やサービスの追加・アップデートを行い、利用者ご自身や、利用者の身近な方との生活をより安心できるものにする、助け合いのコミュニティ形成を目指してまいります。

Weather forecast → Life forecast - 天気予報から「生活予報」へ -



第1弾

「いのちを守る防災診断」サービスを提供開始

パーソナル防災事業を展開する株式会社KOKUAがコンテンツ協力

簡単な質問に回答するだけで自宅周辺の浸水や津波、土砂災害などの災害危険性やハザードマップの表示、お客様の家族形態ごとに適した避難対策や防災グッズの提案がうけられる「いのちを守る防災診断」を提供。

エンバウンド社の株式を取得

「温泉むすめ」を運営する 株式会社エンバウンドの株式を100%取得

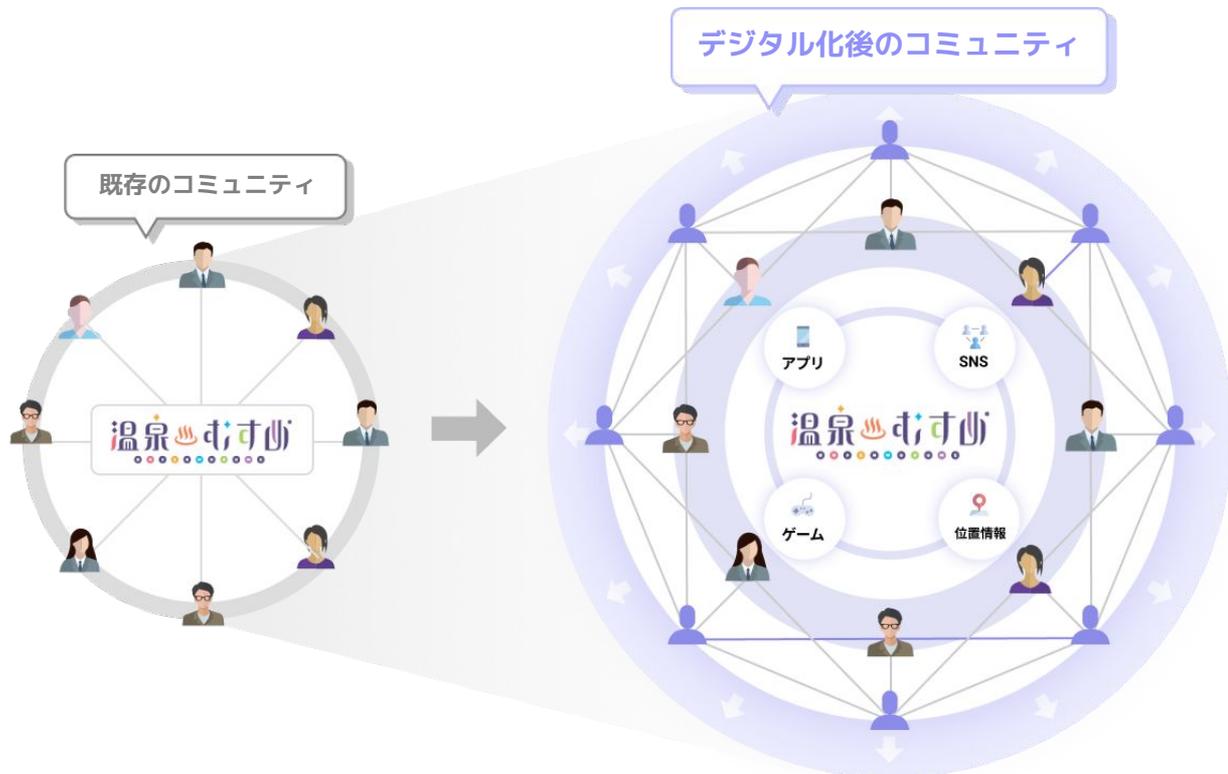
50年続く、コンテンツへ

「温泉むすめ」とは、現地の伝承や特徴を基に作られたキャラクター（神様）を通して、日本各地の温泉地の魅力を発信する地域活性化プロジェクト。

※2024年7月16日時点でのキャラクター129人（うち、観光大使等の就任22人）。



「温泉むすめ」の今後の方向性（デジタル化）



既存のコミュニティは
アナログ的な要素が多い

- 情報の収集方法が限定されている
- ファン同士の関係が希薄
(特にライトファン同士)
- 潜在、ライトファン層との接点が少ない



デジタル化を進めることによって
期待すること

- 情報の多様化、拡散スピードの高速化
- ファン同士のコミュニケーションの増加
- コアファンの活動が新たなファンを
創出しやすくなる

天気3.0 中長期施策

成長に向けた 事業ロードマップ

組織強化および新規事業へ
非連続な成長を目指す

天気メディア領域



現在

レジャーサービス領域



tenki.jp
登山天気

ライフスタイルメディア領域

天気予報データを活用した
ライフスタイルメディア

中期

マーケティング領域

天候 x カスタマ行動データ
天気連動広告ナレッジを活用した
マーケティング関連サービス

長期

Weather x Life x techサービス領域

気象状況による行動変容や健康影響
などのデータを活用したtoCサービス

免責事項

免責事項

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。